

eairpo

移動式クーラー

EKT-B22J1

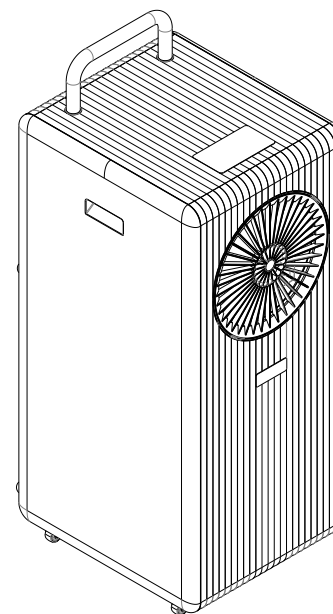
取扱説明書

保証書付

もくじ

- 安全上のご注意……………①～③
- 各部の名称……………④～⑤
- 知っておいて
 いただきたいこと……………⑥
- 準備……………⑦～⑩
- 使いかた……………⑪～⑫
- お手入れ……………⑬
- 故障かな?と思ったら……………⑭
- 仕様……………⑮
- 保証書……………裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY



家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

- ・このたびは、弊社移動式クーラーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害や物的損害に結びつく可能性のあるもの

図記号の説明



禁止

禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



禁止

本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない

感電の原因になります。

電源プラグ・コードは正しく扱う



禁止

交流100V以外の電源は、使用しない

火災・感電の原因になります。



ホコリをとる

電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付いているときは乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



根元まで差し込む

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードの上に物をのせて使用しない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜いて運転を停止しない

火災・感電の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



プラグを抜く

使用しないときやお手入れをするときは、電源を切り電源プラグをコンセントから抜く

絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



屋内の壁コンセントで2口以上になっても単独で使用し、他の電気機器の電源プラグは同じコンセントに差し込まない
また、延長コードの使用や他の電気機器とタコ足配線はしない

屋内配線(壁の中の配線)の電気容量が許容量を超え、火災・感電・電源プラグの異常発熱や変形の原因になります。



プラグを抜く

異常時(こげ臭いにおいがするなど)は、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜く

発熱などで火災・感電の原因になります。お買上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。



禁止

風をストーブなど燃焼器具に向けて使用しない

不完全燃焼や炎の飛散により、故障や火災の原因になります。



禁止

可燃性ガス(殺虫剤など)を吹き付けない

爆発・火災・故障・変形の原因になります。



漏電しゃ断器を取り付ける

火災・感電の原因になります。取り付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼してください。



電気工事が必要な場合は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する

配線などに不備がある場合、火災・漏電・感電の原因になります。



禁止

すき間からピンや針金などの異物や指を入れない

本体内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になります。



禁止

子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しない

感電・けがの原因になります。



水濡れ禁止

直接水をかけたり、水につけたり、吹き付けたりしない

火災・感電の原因になります。



梱包用ポリ袋は幼児の手の届かない場所に保管する

誤って被ったときに、窒息死の原因になります。



窓パネルは重量に耐える場所に確実に取り付ける
取り付けは必ず付属の窓パネルや指定の部品を使用し、正しく取り付けを行う

落下によるけがの原因になります。

仕様

電 源	AC100V 50/60Hz
冷 房 能 力	1.8/2.2kW
消 費 電 力	850/980W
電 流	9.5/9.8A
除 湿 能 力	26/33L(日)
圧 縮 機	全閉型ロータリー
冷 媒	R410A
冷 媒 封 入 量	360g
騒 音 値	約53dB
設定可能温度	16~30℃
使用環境温度・湿度	5~35℃・30~90%
電 源 コード	約2.0m
本 体 寸 法	幅360×奥行310×高さ730mm
質 量	約24kg
※冷房能力および、電気特性は室温35℃相対湿度60%の条件下で運転したときの値です。	

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき	ご確認ください
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがコンセントから外れていませんか。 →電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●停電ではありませんか。 →確認してください。 ●満水ランプが点灯していませんか。 →容器を用意して、排水口からドレン水を排出してください。
冷風が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●送風運転になっていませんか。 →冷風運転にしてください。 ●フィルターが汚れていませんか。 →フィルターを掃除してください。 ●部屋の中に熱源がありませんか。 →熱源と併用して使用しないでください。 ●排熱ダクトが潰れていませんか。 →正常な状態にしてください。 ●吹出し口・排熱口・フィルターがふさがっていませんか。 →ふさがないでください。
水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ●傾斜した場所や不安定な場所に置いていませんか。 →安定した水平な場所で使用してください。
音がする	<ul style="list-style-type: none"> ●運転中や停止直後に「シュー」という音がすることがあります。 これは内部の冷媒が流れる音ですので異常ではありません。
リモコンがきかない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が消耗していませんか。 →電池を入れかえてください。

上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

◇電源コード、電源プラグはときどき点検を行ってください◇

- イ.電源プラグが汚れていたり、さびていたり、ホコリが付着していませんか。
→汚れ、さび、ホコリなどを取り除く。
- ロ.電源コードに傷がありませんか。
- ハ.運転中、電源コードを動かすと電源が切れることがありますか。
※上記のロ.およびハ.の症状があるとき、またはイ.の場合で汚れなどが取り除けない場合には感電や火災の原因になりますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

⚠注意



風を長時間、身体に当てたり、冷やしすぎたりしない
健康を害することがあります。特に乳幼児やお年寄り、身体の不自由な方にはご注意ください。



吸込口・吹出し口・排熱口をふさがない
発熱・発火・故障の原因になります。



次の場所で使用しない
故障・感電・火災・変形の原因になります。

- 湿気の多い場所や火気の近く
- 厨房や工場など油膜が発生するところ
- 直射日光の当たるところ
- ホコリや金属粉の多いところ
- 高温(40℃以上)になるところ
- 暖房器具の周辺など熱気が当たるところ
- 障害物(カーテンなど)の周囲や不安定なところ(傾斜がある場所など)
- 灯油、ガソリン、塗料など引火性の物があるところ
- 押し入れや家具のすき間、机の下など狭い場所
- 浴槽内など水のかかりやすいところ



屋外では使用しない
故障・感電の原因になります。屋内あるいは準屋内(屋根があり直射日光や雨があたらない場所)で使用してください。



製品の上に乗ったり、腰掛けたり、物をのせたりしない
衣類や洗濯物などをのせたり近くに置かない
けが・故障の原因になります。



美術品・学術資料などの維持、管理や保存など特殊な用途では使用しない
これらの物の品質低下や劣化・故障の原因になります。



保管するときは本機の操作方法を知らない人(特にお子様)などが触れない所に保管する
けが・事故の原因になります。



電源プラグを抜くときは、プラグを持って引き抜く
感電・故障・発火の原因となります。



本体を移動するときは、次のことに注意する

水濡れして家財などを濡らしたり、漏電によって感電・火災の原因になります。また、床を傷つけたり、けがの原因になります。

- 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨てる
- 電源コードを持ち、取っ手をしっかりと持って滑らないようにする
- 引きずっての移動は絶対にしない
- 畳や傷のつきやすい床、凹凸のある場所、毛足の長い絨毯の場合、持ち上げて移動する



水平で丈夫な場所で使用する
水もれして家財などを濡らしたり、感電や漏電火災の原因となります。



窓パネルの取り付け・取り外しやお手入れをする際は、手袋をつける
けがの原因になります。



周囲温度5~35℃、相対湿度30~90%の範囲で使用する
機械の保護装置が働き、運転できないことがあります。



燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気を行う
酸素不足の原因になります。



フィルターを外した状態で使用しない
故障の原因になります。

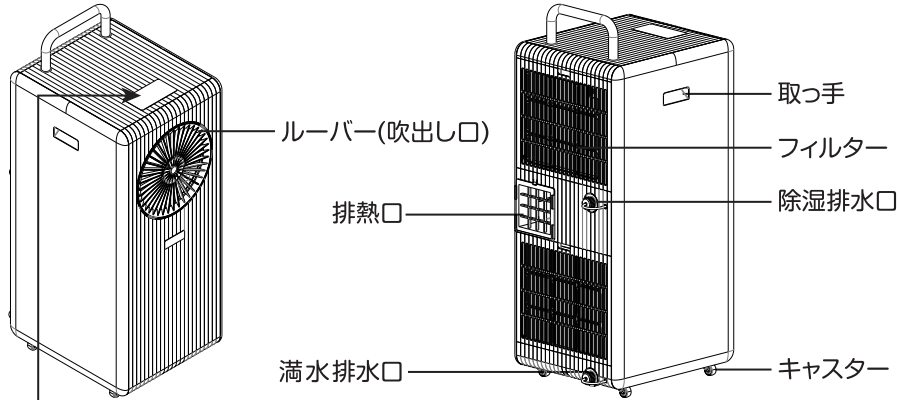


無理やり可動部に力を加えない
故障・破損の原因になります。

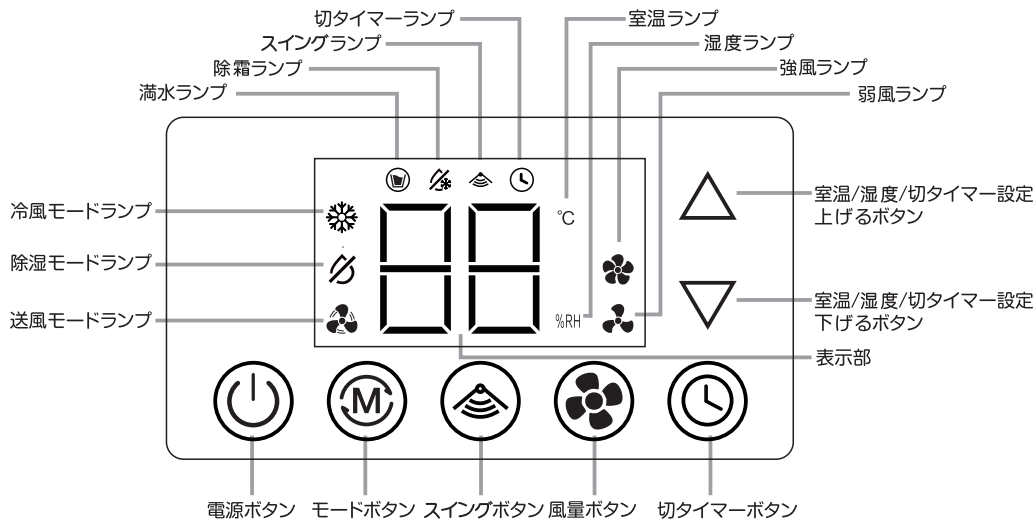
各部の名称

正面

背面



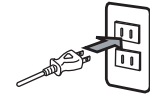
操作部



お手入れ

1 電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際には電源プラグは必ず抜いてください。
感電やけがの原因になります。

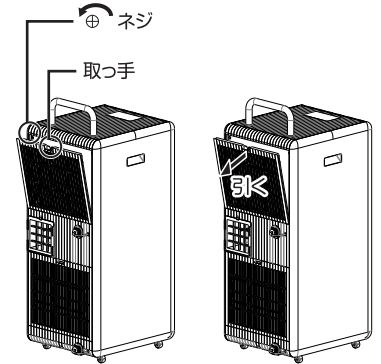


注意

電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。
感電の原因になります。

2 エアフィルターの掃除をする

- エアフィルターが汚れてくると風の通りが悪くなり、故障や発熱等の原因になります。定期的に確認し、ホコリやチリ等でつまってきたら掃除機で吸い取るか、水洗いしてください。
- エアフィルターは、右図の取っ手を引き出して取り外してください。
- 水洗いした場合は、十分乾燥させてから取り付けてください。



3 本体のお手入れをする

- ぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を固くしぼって汚れをふき取り、からぶきをしてください。
- ベンジンやシンナー、みがき粉、金属たわしなどは使用しないでください。

4 保管する

- ドレン水を必ず抜いてください。容器などを用意し、排水口のカバーを外して内部に溜まった水を排出してください。
- 内部に水滴を残さないため、晴れた日に半日ほど「送風運転」をして乾燥させてください。
- ポリ袋などに入れて、直射日光をさけ、湿気の少ないところで保管してください。

注意

- 電源コードは、きつくしぼったり折り曲げたりしないでください。故障の原因になります。
- 横倒しの状態で保管しないでください。故障の原因になります。

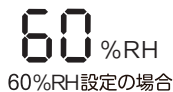
使いかた

除湿運転



除湿

モードボタンを押して「除湿」を選んでください。除湿ランプが点灯し除湿を始めます。



60%RH
60%RH設定の場合

- 除湿時の初期設定湿度は60%です。
- 湿度設定ボタン△▽で湿度設定を行います。
- 湿度設定範囲は40～70%です。設定単位：5%RH。



除霜

除湿時に除霜ランプが点灯。

送風運転



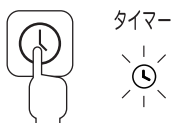
送風

モードボタンを押して「送風」を選んでください。送風ランプが点灯し送風を始めます。

※操作部には、現在の室温が表示されます。

タイマー運転

設定した時間が経過すると停止します。 設定時間:1～12時間



タイマー

●切タイマーボタンを押してください。切タイマーランプが点灯し、表示部に時間が表示されます。

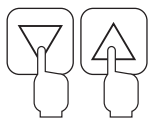
●「切タイマー設定ボタン」を押すと時間を変更できます。(1時間～12時間)

●再度切タイマーボタンを押すと設定完了します。

●設定後に切タイマーボタンを押すと設定が取り消され、室温表示に戻ります。



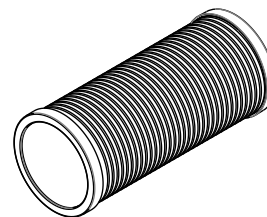
1時間の場合



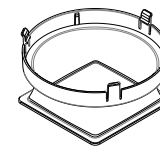
各部の名称

付属品

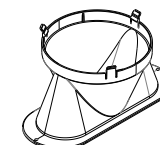
排熱ダクト



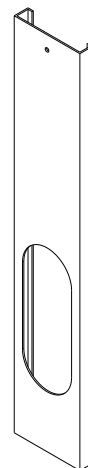
排熱ダクト用本体側継手



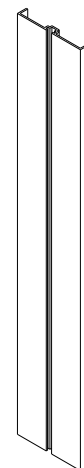
排熱ダクト用窓側継手



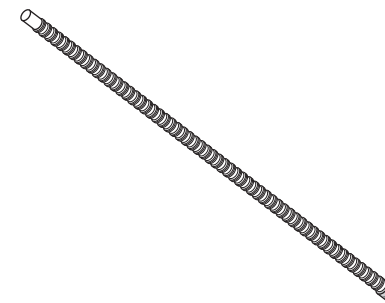
窓パネルA



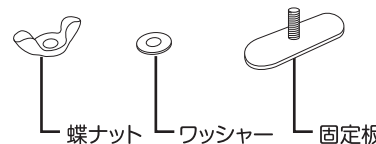
窓パネルB



ドレンホース



窓パネル固定用部品



蝶ナット

ワッシャー

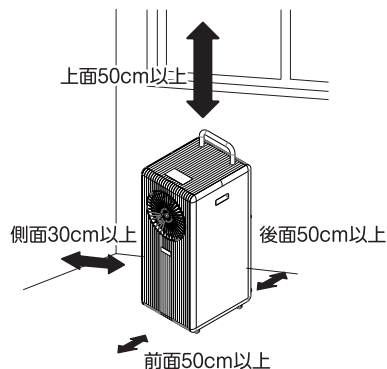
固定板

知っておいていただきたいこと

- 冷風は出ますが、部屋全体を冷房することはできません。閉め切った部屋で運転すると、排熱により室温が上昇します。付属の排熱ダクトと窓パネルを使用することにより、室温の上昇を抑え、効果的に使用できます。
- セパレートエアコン等と構造が異なりますので、簡易的な冷房として使用してください。付属の排熱ダクトと窓パネルを使用せずに閉め切った室内で使用すると室温が上昇します。
- 排熱処理を適正に行ってください。付属の排熱ダクトと窓パネルを使用することにより、室温の上昇を抑え、効果的に使用できます。
- 運転停止直後の再運転や運転切換直後は約3分間コンプレッサーが作動しないことがあります。機械保護のため、約3分間送風運転を続けた後、通常運転になります。
- 電源プラグを抜き差しして再運転する場合は、3分以上待ってください。落雷などにより運転動作に異常があった場合は、一旦運転を停止して電源プラグを抜いてください。再度使用する場合は、3分以上待ってから再度運転を行ってください。
- フィルターのお手入れはこまめに行ってください。フィルターにホコリが詰まると風量が減少し、能力が低下します。また、フィルターを外したまま運転をすると、内部にごみが付着し故障の原因になりますので、必ずフィルターを取り付けて使用してください。
- 排熱ダクトがつぶれて正常に排熱できない場合は、冷風・除湿能力が低下したり、保護制御が働き風量が上がったりして運転できない場合があります。すみやかに、排熱ダクトのつぶれを直してください。
- 排熱ダクトの延長をしないでください。

■設置場所

- 平らでしっかりとした床面に設置してください。
- 上方の棚などからも、物が落ちない場所に設置してください。
- 直射日光の当たる場所に設置しますと、本体の変質・変色の原因になります。

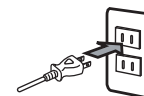


使いかた

冷風運転

1 電源プラグをコンセントに差し込む

しっかりと差し込んでください。



2 運転する

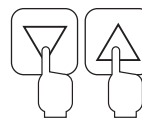


電源ボタンを押すと運転を始め、冷風・風量ランプが点灯します。表示部に設定室温が表示されます。再度押すと停止します。

3 風の種類を選ぶ



モードボタンを押して「冷風」を選んでください。冷風ランプが点灯し冷風を送り出します。



「室温設定ボタン」を押すと室温設定ができます。

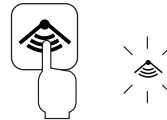
- 初期冷房モード時の設定温度は26℃です。
- 温度設定ボタン△▽で温度設定を行います。
- 温度設定範囲は16～30℃です。設定単位：1℃。

4 風量を調節する



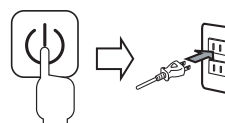
風量ボタンを押すたびに風の強弱が変わり、風量ランプが点灯します。

5 スイング機能



スイングボタンを押すと、スイングランプが点灯し、ルーバーがスイングします。再度スイングボタンを押すとスイングランプが消灯し、スイングが止まります。

6 運転を停止する



電源ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。

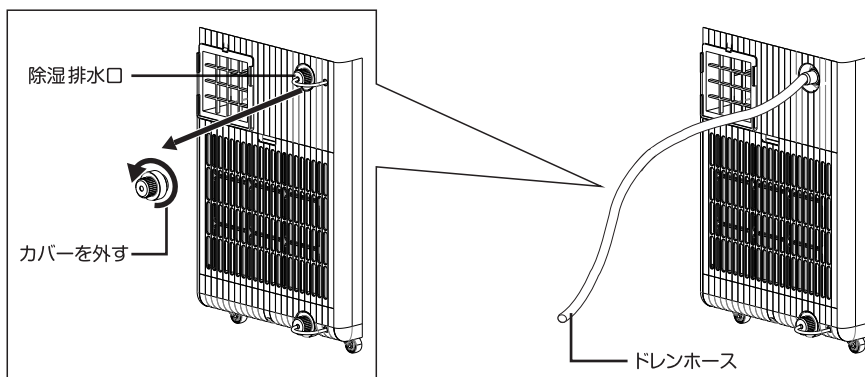
準備

ドレンホースの取り付け、排水

[除湿運転の場合]

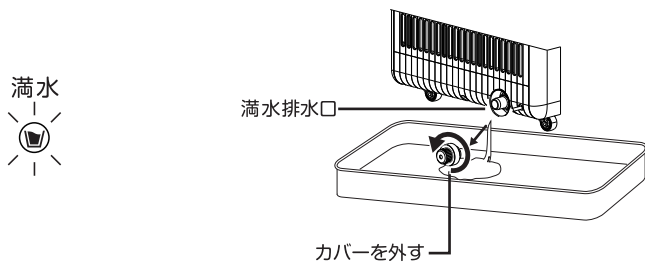
除湿運転時、付属のドレンホースを使用してドレン水を排出してください。

- ①排水口のカバーを取り外してください。
- ②中に排水栓がありますので、それを必ず取り外してから排水口にホースを取り付けてください。
- ③市販の容器や排水設備などに排水してください。
※ホースの折れ曲がり、段差などに注意してください。また、容器を利用する場合は溜まった水をこまめに確認してください。水が容器からあふれて床を濡らす原因になります。



[冷風運転の場合]

本製品は、ノンドレン構造になっており、冷風運転時ホースでドレン水を排出する必要がありませんが、湿度が高い場所で運転を行うと、ドレン水が溜まりやすく満水ランプが点灯して停止することがあります。満水ランプが点灯して停止したときは、市販の容器などを用意し、排水口のカバーと排水栓を取り外して、本体内に溜まったドレン水を排出してください。

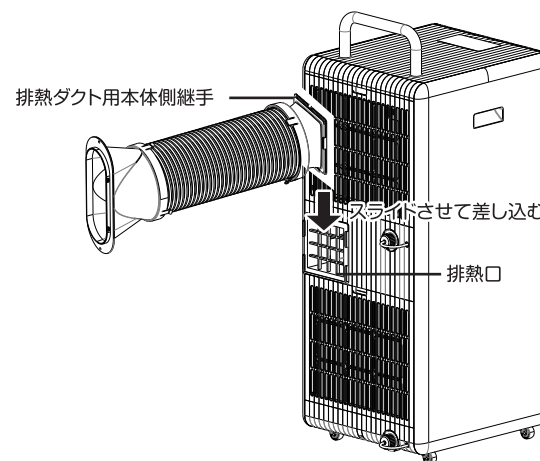
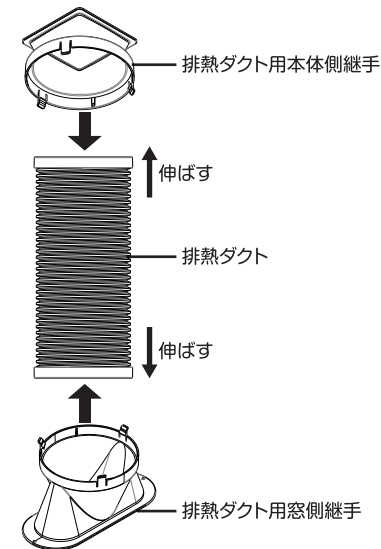


準備

排熱ダクトの取り付け

- 冷風運転時、室温の上昇を抑えたい場合、排熱ダクトと窓パネルを使用してください。
- 排熱ダクトの延長はしないでください。能力低下や安全装置が作動し運転が継続できなくなる場合があります。
- 排熱ダクトが潰れていると正常な運転ができません。潰れている場合は、速やかに潰れを直してください。

- ①排熱ダクトの両端を伸ばしてください。
- ②排熱ダクト用継手を、排熱ダクトの両端に差し込み、固定してください。
- ③本体の排熱口に、排熱ダクト用本体側継手をスライドさせて差し込み、排熱ダクトが外れないことを確認してください。
- ④排熱ダクトを適当な長さに伸ばしてください。排熱ダクトを調整するときは、排熱ダクトの根元に力がかからないように、必ず手を添えて行ってください。



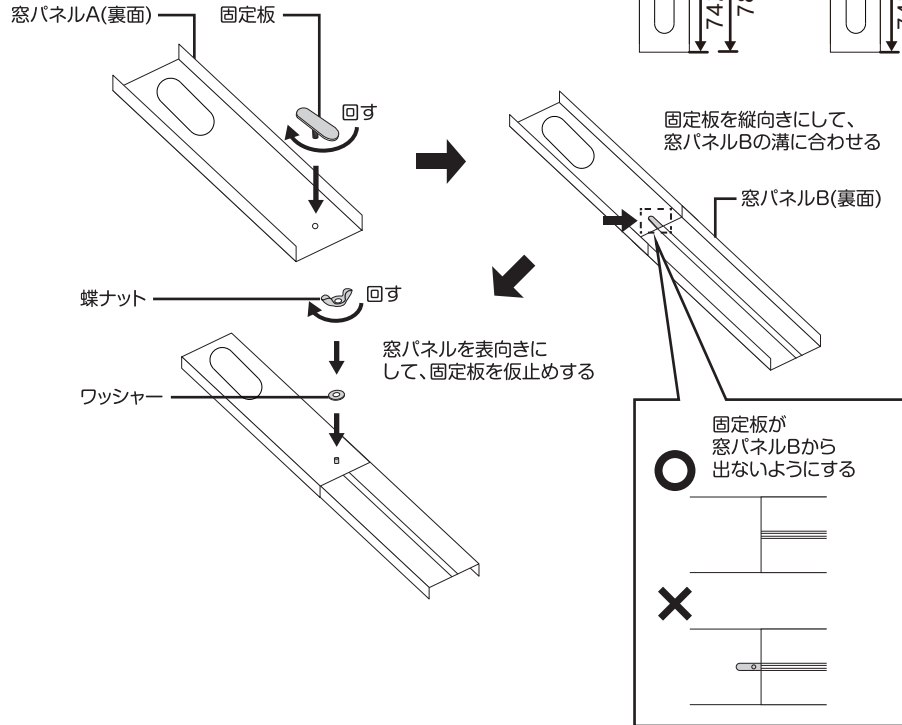
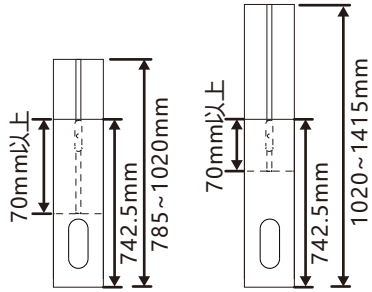
準備

窓パネルの取り付け

- 冷風運転時、室温の上昇を抑えたい場合、排熱ダクトと窓パネルを使用してください。
- 雨どいの真下は避け、吹き下ろしなどにより窓から雨水が侵入しない場所に取り付けてください。室内を汚す原因になります。
- 排熱口からの風切り音や、本体の振動などにより騒音が発生する場合がありますので注意してください。
- 雨や風が強いときは、使用を中止し窓パネルを取り外してください。
- 鉄製の窓や特殊な窓には取り付けできないことがあります。
- 窓サッシ固定用の補助鍵を使用する場合は、市販品を購入してください。
- 外出する時は窓を閉め、窓自体の鍵をかけてください。

- ①窓パネル取り付け前に、窓の高さを測ってください。
窓パネルは、窓の高さが785mm~1415mmまでの対応になります。
※785mm~1020mmの場合は、窓パネルBをのこぎりなどで切断して調節してください。

- ②窓パネルを裏返して、窓パネル固定用部品を取り付けてください。

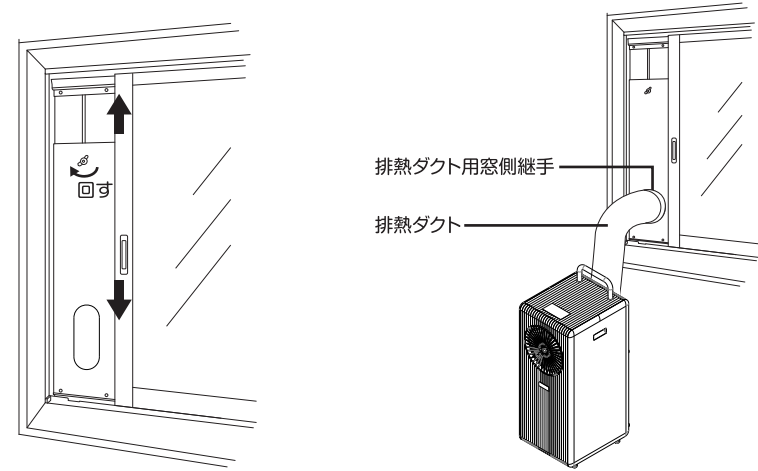


⑧

準備

- ③窓パネルを窓枠の上下レールに合わせ、蝶ナットをしっかりと締めつけて固定してください。
※取り付けが不十分ですと落下によるけがの原因になりますので、十分注意してください。
※必ず窓の戸と同じレールに取り付けてください。

- ④排熱ダクト用窓側継手を窓パネルの穴に差し込み、外れないことを確認してください。



⑨